



絆 (きずな)

目指す児童像

- やさしい子
- よく考える子
- ふるさと思いの子

「ふるさと河野を大切に作る心&できるようになったこと」を伝える
～しおかぜ集会を終えて～

「しおかぜ集会は4月から10月まで、何を学んだか?どのように学んだか?何ができるようになったのか?を発表する場です。」

最初のあいさつで児童に話した言葉です。そして、これがしおかぜ集会のねらいでもあります。各学年の発表は、このねらいを具現化したものでした。



1・2年「教えて!〇〇先生～」



3年「河野のみりよくをみつけよう」



4年「河野の海をみんなで守るゾ!」



5年「お米を食べて、元気100倍!」



6年「河野を明るくにぎやかな町にしよう」

3年、4年、6年は、ふるさと河野をテーマにした発表でした。河野の海、河野梅、河野の魚、越前水仙など河野の魅力を調べ、今後のあるべき姿を自分たちで考え提言していました

た。事後に開催した学校運営協議会では委員の方々から、「素晴らしい内容だったと思います」と評価していただきました。ふるさと学習の成果だと考えています。1・2年、5年は授業で学習したこと、わかったこと、できるようになったことの発表でした。「伝える工夫いっぱい発表だった」とのご意見をいただきました。



北野徹様の講話

最後に、本校第2回卒業生の北野徹様の講話「河野小学校の先輩から後輩へ」を拝聴しました。約50年前の河野小学校統合により木造校舎から最先端の鉄筋校舎に移った頃の思い出、最初の1年間は体育館を建設中だったので屋上で体育の授業をしたことなど、大変なつかしく思いました。結びの「いつまでも河野を愛する人であって欲しい」というメッセージ。児童の心に響いたと思います。最後になりましたが、ご参加いただいたご来賓の皆様、保護者の皆様、ご家族の皆様にご心よりお礼を申し上げます。